

ウメト インフォメーション

2021年4月5日

担当 坂田

日本製紙連合会の2021年2月の紙・板紙需給速報によると、紙・板紙の国内出荷は前年同月比5・9%減で19カ月連続減少した。グラフィック用紙は10・0%減で51カ月連続の減少。パッケージング用紙は1・3%減で、17カ月連続の減少となった。主要品目は段ボール原紙を除き減少した。紙・板紙の輸出は前年同月比14・8%増で14カ月連続の増加。グラフィック用紙は5・2%減で2カ月連続減少した。パッケージング用紙は1・0%減で、23カ月連続減少した。パ

パッケージング用紙は24・6%増で、15カ月連続増加した。グラフィック用紙は塗工紙が南アジア向けで減少。パッケージング用紙は段ボール原紙を中心に東アジア向けが増加した。主要品種では新聞用紙が14・5%減で40カ月連続の減少。印刷用紙は8・4%減で、19カ月連続減少した。非塗工紙、塗工紙、情報用紙とも減少。輸出は5・2%減で2カ月連続の減少。包装用紙は6・8%減となり、23カ月連続で減少した。

製紙連合会 段ボール除き減少

2月の紙・板紙国内出荷は前月の増加から減少に転じた。グラフィック用紙は4万6000ト減で前月の増加から減少となった。印刷・情報用紙は減

2021年2月 紙・板紙需給速報 (単位:千トン、%)

2月	品名	生産		出荷計				在庫		(参考)輸入*			
		前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前月比	前月比	前年比	前月比		
	紙・板紙計	1,847	▲6.5	1,866	▲4.3	1,698	▲5.9	168	+14.8	1,975	▲19	70	▲20.0
	紙計	903	▲13.7	934	▲9.7	858	▲10.7	76	-3.0	1,191	▲31	53	▲14.9
	新聞用紙	152	▲15.5	152	▲14.5	152	▲14.5			194	+0	0	+160.2
	印刷・情報用紙	474	▲17.7	520	▲8.2	474	▲8.4	46	▲5.2	700	▲46	49	▲12.7
	非塗工紙	139	▲8.0	144	▲2.3	135	▲3.5	9	+17.8	230	▲5	2	+16.4
	塗工紙	244	▲23.1	280	▲10.4	246	▲10.6	34	▲9.5	335	▲35	19	+13.6
	情報用紙	91	▲15.3	96	▲9.6	94	▲9.5	2	▲14.5	135	▲5	29	▲25.3
	包装用紙	69	▲3.6	70	+2.6	51	▲6.8	19	+39.7	105	▲1	0	▲29.6
	衛生用紙	150	▲0.8	131	▲15.8	130	▲15.9	0	+333.3	99	+19	2	▲47.2
	板紙計	944	+1.5	932	+1.7	840	▲0.5	92	+26.9	784	+12	17	▲32.9
	段ボール原紙	772	+2.8	766	+2.8	679	+0.6	87	+23.5	555	+6	2	▲49.5
	白板紙	114	▲2.6	110	▲0.1	105	▲2.8	5	+135.5	147	+4	15	▲27.8
	グラフィック用紙	626	▲17.2	672	▲9.7	626	▲10.0	46	▲5.2	894	▲46	50	▲12.4
	パッケージング用紙	1,071	+0.2	1,064	+1.1	942	▲1.3	122	+24.6	982	+7	18	▲32.1

品名	生産	出荷計	在庫	(参考)輸入*
紙・板紙計	3,778 ▲4.8	3,694 ▲3.7	3,384 ▲5.0	310 +13.2
紙計	1,876 ▲11.0	1,851 ▲9.0	1,718 ▲9.1	133 ▲8.0
新聞用紙	325 ▲12.7	316 ▲14.0	316 ▲14.0	
印刷・情報用紙	1,005 ▲14.4	1,006 ▲9.5	928 ▲8.5	79 ▲19.1
非塗工紙	285 ▲5.6	278 ▲4.6	261 ▲4.9	16 +1.6
塗工紙	533 ▲20.1	537 ▲12.5	479 ▲10.9	57 ▲23.6
情報用紙	188 ▲9.0	192 ▲7.4	187 ▲7.1	5 ▲18.3
包装用紙	136 ▲1.7	136 +0.4	102 ▲7.4	35 +33.1
衛生用紙	293 +0.2	273 ▲5.7	272 ▲5.8	0 +488.9
板紙計	1,902 +2.3	1,842 +2.3	1,665 ▲0.4	177 +36.9
段ボール原紙	1,571 +4.2	1,515 +3.7	1,346 +0.8	169 +34.3
白板紙	213 ▲6.8	215 ▲2.0	206 ▲4.1	8 +124.0
グラフィック用紙	1,330 ▲14.0	1,322 ▲10.6	1,243 ▲10.0	79 ▲19.1
パッケージング用紙	2,155 +1.3	2,099 +1.5	1,868 ▲1.2	231 +30.8

(注)1. 国内工場の生産高・出荷高・在庫高による。
 2. 紙計は「その他の紙」、板紙計は「白板紙以外の紙器用板紙」、「その他の板紙」を含む。
 3. 在庫の前月比増減は数量(千トン)表示。
 4. 輸入*は1月

今年度は原油や銅など景気に連動しやすい商品が上昇しそうだ。米国の財政支出のさらなる拡大で、商品需要が増すとの連想が起きやすい。

4～6月のニューヨーク原油先物は現状の1バレル前後を中心に推移するとみる。石油輸出国機構（OPEC）加盟国とロシアなど非加盟国からなる「OPECプラス」は協調減産の縮小を決めた。今後も増産をに



三菱UFJリサーチ&コンサルティング主任研究員
芥田 知至氏

商品 米財政拡大受け上昇

す国が出て上値を抑えるだろう。

ただ、新型コロナウイルスワクチンの接種が進めば人の移動が増える。夏には米国で需要期であるドライブシーズンが本格化する。7月以降は相場が上がりやすくなり、年度後半には70ドル台に達する場面もありそうだ。

銅は電気自動車の普及も買い材料だ。ロンドン金属取引所（LME）の3カ月先物は現在の1ト9000ドル前後から上昇し、2011年の史上最高値（1万ドル強）の更新もあり得る。

安全資産とされる貴金属の金は経済正常化が進む中で売られている。秋にはニューヨーク先物が1バレル1550ドル程度まで下がる可能性もある。



2021年度 入社式トップ訓示

「絶え間ない変化に挑戦」

ENEOS 大田勝幸社長

どんなに厳しい環境でもエネルギー供給を維持することが、いままでもこれからも当社に取組んでほしい。社会的な責任であり、会社経営にあたりては「いまのビジネスを大切に利益を出す」ことと「将来に向けた準備・投資をす

生き残り、世の中に役に立ち続けるためには社会の変化に対応し、先取りし、常に進化し続けることが最も

「ENEOS」を心にとめておいてほしい。私自身の長い会社経

「真に働き成長する場提供」

出光 木藤俊一社長

多く経験が力になることを期待している。と信じ、拒否せず受け入れて、まずやってみるのが大事だということ。若いエネルギーを卒175人。三つ目のキーワードは「エネルギー」。当社の事業は、社会の要請に応じて多様化していくが、究極の目的は「尊重される人の育成」にある。みなさんの一生懸命な姿勢と着実に成長している姿が、職場に新しいエネルギーを注ぎ込む。当社の未来を創る「気概を持って活躍されることを期待している。」(新入社員1501人) 大学以上79人、高専・

1月末から放映しているテレビCMの「一人切にしてきたことを一言で表している企業理念は「真に働く」だ。社会環境の変化に応じたかたちを変えながら、地域社会、そこに暮らす人々を思い、真に働くことで人は成長に「つなぐ」ことが必

「若い力で変革を期待」

コスモエネHD 桐山浩社長

現在の中期経営計画の「Oil & New」の「Oil」は、まだ重要なエネルギー源である石油を安定的かつ大事に使っていくこと、Newは将来を見据え、新たな柱となる事業を積極的に展開していくことを意味している。また、期待していると思う。われわれは常にビジネスモデルを検証し、社会と共に変革していかなければならない。とくに若い力に期待している。変革の時代にこそ、若い力を発揮してほしい。そして持続可能な、サステナブルな会社や社会、地球であり続けるために、グループ一丸となって取り組んでいこう。(新入社員82人) 基幹職37人、技能職45人。



ウメト インフォメーション



リサイクル推進のモデルに 3つの再資源化事業を实践 福岡県 大木町



リサイクル広域化のイメージ

廃プラ 広域から受け入れ油化



大木町内に立地する廃プラ油化設備

国の方針に先んじて、大木の各庄・天草田のまちで普及する。一部から受け入れ、プラの回収・リサイクルの地域づくりを進めている。回収は町内各地に、回収センターに週1回集めた廃プラは、別荘や工場敷地内に油化プラントで油化をかける。また、別荘や工場敷地内に油化プラントで油化をかける。また、別荘や工場敷地内に油化プラントで油化をかける。

紙おむつ SAP など再利用探る

大木町は資源循環取組で重宝が製品留め。紙おむつやSAP（スーパーアブソルブentポリマー）など、回収した紙おむつやSAPを再利用する取り組みが、町内でも広がっている。回収した紙おむつやSAPを再利用する取り組みが、町内でも広がっている。

生ごみメタン発酵しガス・液肥

生ごみは、メタン発酵設備で処理し、発生したメタンガスは発電や熱供給に、液肥は農地に還元する。大木町は、生ごみの資源化を進めるため、メタン発酵設備を整備し、生ごみを処理している。

今後カーボンニュートラルも

事業でも廃りを取り組む。住みかき合いによるカーボンニュートラルの実現を目指す。大木町は、環境負荷低減と資源循環の両立を目指し、カーボンニュートラルの実現に取り組んでいる。



町長 高橋 雄公

「生ごみ処理センター」の稼働を始めた。資源循環の促進を目指す政府は先月、一般家庭や事業者から排出される廃プラスチックのリサイクル拡大に向けた基礎整備のための法案を閣議決定した。

ームの高度化がようやく始まる一方で、複数の再資源化事業を同時並行で実践する自治体がある。福岡県大木町が手掛けるのはプラごみ、生ごみ、使用済み紙おむつのリサイクル。持続可能な規模を模索し、すでに近隣自治体を巻き込んだ取り組みに発展しており、地方自治体でリサイクルを推進するうえでモデルケースとして期待される。



製品値上げ

POを28円以上

トクヤマ

トクヤマはプロピレンオキサイド(PO)の価格を改定する。21日出荷分から1キログラムあたり28円以上値上げする。海外市場が高騰しており、需給バランスがタイト化している。製造・物流・設備維持コストの増加も見込まれ、自助努力による吸収が困難として、ナフサ価格変動分以外について、採算是正を目的に値上げを決めた。

て、採算是正を目的に値上げを決めた。

IPA 28円以上

トクヤマはインプロピルアルコール(IPA)の価格を改定する。21日出荷分から1キログラムあたり28円以上値上げする。主原料となるナフサ価格が高騰。製造設備の維持・更新費用や物流コストも増加している。自助努力での吸収が困難とし、採算是正を目的に値上げを決めた。

各種可塑性剤など

ADEKA

ADEKAは21日出荷分から可塑性剤と塩ビ用安定剤を値上げする。改定幅は可塑性剤のポリエスチル系が1キログラムあたり55円、ゴム用が35〜68円、トリメリット酸系が40円、安息香酸系が32〜42

円、その他が25〜41円。塩ビ用安定剤は現行価格比10%以上。

酢ビモノマー30円

日本酢ビ・ポバール

日本酢ビ・ポバールは酢酸ビニルモノマーの価格を改定する。15日出荷分から1キログラムあたり30円値上げする。酢酸、ナフサ、エチレンといった原料が高騰するほか、酢ビやポバールは需給がタイト化している。採算改善、安定供給の維持を目的に値上げを決めた。

OPSなど28円超

デンカ

デンカは5月1日納入分から2軸延伸ポリスチレンシート(OPS)デンカサーモシートBOPS「および食品包材用スチレン系シートを値上げする。改定幅は1キログラムあたり28円以上。各種合理化に取り組んできたが、原料や副資材などのコストが上昇するなか、現行価格では安定供給と事業の継続が困難と判断した。